

9月11日～ 武奈ヶ岳

若林 憲治

山名	武奈ヶ岳	山行名	個人山行			
ルート	坊村⇒武奈ヶ岳⇒坊村					
山行日	2022年 9月 11日	天候	曇り晴れ曇り			
参加者	CL 若林 SL 伊藤(多) (参加者 総勢 7名) (男性) 松嶋 小泉 2名 (女性) 高山 岡本 山本 3名					
ルート概略図	コースタイム					
	地名	時:分	地名	時:分		
<pre> graph TD A[坊村登山口] --> B[御殿山] B --> C[武奈ヶ岳山頂] C --> D[坊村登山口] </pre>	坊村登山口	着		着		
	坊村登山口	発	08:50	坊村登山口	発	
	御殿山	着	11:05	御殿山	着	
	御殿山	発		御殿山	発	
	武奈ヶ岳山頂	着	11:55	武奈ヶ岳山頂	着	
	武奈ヶ岳山頂	発	12:55	武奈ヶ岳山頂	発	
	坊村	着	15:15	坊村	着	
	坊村	発		坊村	発	
	坊村登山口	着		坊村登山口	着	
	坊村登山口	発		坊村登山口	発	
	<p>今年入会の女性2名の方より教育登山のさなか、白山登山に参加するにあたり少し高い山での訓練がしたいとの申し入れがあり、武奈ヶ岳登山を実施する事にした。</p> <p>コース設定に当たり、個人的には過去イン谷口からがメインのコースで有ったが、坊村からが少し楽ではとのアドバイスもあり、今回は坊村をスタートにした。</p> <p>当日は35℃を超える気温で前日までの雨の影響か、まるで蒸し風呂登山状態。</p> <p>登山口から地主神社本殿までのコースは、紅葉木の合間をぬって秋の時期は良いねの感覚で余裕もすぐさま登り開始。足場もあまり良く無く延々と続く急な登りの連続。初心者(2名)に取っては少しハードルが高い選択と成ったが頑張り屋の2人。1名若干タイムラグは有ったが無事に全員山頂に立つ事が出来、山頂から琵琶湖を望む景色を堪能して頂けたのは何よりの救いであった。</p> <p>山頂には食事タイムに登頂できて一時間ほど休めた事もあり、下山は順調? 汗だくの中15時過ぎ地主神社本宮に無事到着。10月1日～2日の白山登山に対して自信を付けて頂く良い訓練登山に成ったのではと自画自賛。今回の新人メンバーMさん 武奈ヶ岳登山(坊村コース)を年間5～6回訓練兼ねて登っておられるとの事で当然コースも熟知頼もしく思えた。今回の登山日2日前の急な参加要請に対して快く引き受けて頂いた比良山に精通したIさんの同行は小生坊村初コースでも有り心強く感じた次第。有難うございました。ご参加の皆さん、湿度の高い酷暑の登山お疲れ様でした。 アブ刺されと大量の虫発生もヒヤリハット無し。</p>					
	ヒヤリハット : なし					



登山途中は暑さにバテバテ
頂上ではこの笑顔（最高）よ

松嶋芳人

9月になり、もう真夏程の暑さではないだろうと油断したのだが甘かった。京都は34.7℃の猛暑日一歩手前だったとの事で、汗だくの登山となりました。また、恐怖を感じるほど虫が大量に飛び回っていて、帰ってから気付いたのですがブヨに何か所か刺されていました。当日は雲が多くて見えませんでした。空気が澄んだ日は武奈ヶ岳から白山を見ることができます。という事は、白山からも武奈が見える訳で、自分が登った山を別の山から見るのは感慨深いもので、苦労して登った山は尚更です。白山から武奈ヶ岳が見えるような晴天に恵まれると良いですね。企画から運転までして頂いたWさん、急遽サポート頂いたIさん、ご一緒頂いた皆様、楽しい山行を有難うございました。感謝です。

山本浩恵

今回、10月例会の霊峰白山登山のトレーニングとして武奈ヶ岳を計画していただきました。今回の山行でいろんな意味でのリフレッシュを期待して、お天気にも恵まれるようお願い、当日を迎えました。天気は快晴！そして9月とは思えないくらいの暑さではありましたが、山頂での涼しさを楽しみに総勢7名でスタートしました。坊村登山口までは2台の自家用車で移動(内1台は私が運転)問題なく現地到着。各自準備と全身体操を終えて、いざスタート！！久しぶりの山！意気揚々と歩き始めた直後…とにかく続く急登に「マジか?!アタシ頂上まで行ける?」そんな気持ちにさえなるくらいしんどかったのですがそれでも先頭を担当してくださったSLIさんの軽やかな足取りに「がんばれ自分！先輩を見習え!!」なんて心奮い立たせて必死で歩きました。御殿山到着後もスピードは落ちましたがなんとか頑張り登頂できました！改めて見る山頂での景色に「山始めてよかった~!!」さっきまでの当方はどこかへ行っていました(笑)山頂での自作のおにぎり、お裾分けしていただいたドラゴンフルーツ美味しかった。頂上では約一時間の休憩を終え、下山スタートしましたが、往路で不安になった通り、下りは下りで足にくる~!!もう既に筋肉痛でした。足の踏ん張りが利かないくらい足腰の脱力とストックを持つ手も筋肉痛。満身創痍の下山でした。皆さんのお声かけと、当方の力量に合わせてくださったことで、無事に下山できたこと本当に感謝しています。頼もしい先輩と楽しい仲間、なによりやりきれた達成感やリフレッシュ感を覚えた今、またいつか季節を変えてチャレンジしたい山になりました。W先輩、I先輩、本当にありがとうございました。同期の皆さま、これからも末永く一緒に楽しく山登りさせてくださいませ。